株式会社マグトロニクス

DX戦略

Ver1.0　2026年11月公開

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

はじめに

DX推進は、製造業が抱える社会課題の解決に不可欠な取り組みです
現場からサプライチェーン全体へ、持続可能な製造DX基盤を構築します

弊社の製造受託業におけるDX推進は、多品種・個別受注型である制御盤製造やケーブルハーネス加工を対象としているため、標準化や共通化が難しく、高い成果を得ることが容易ではない高度な取り組みです。しかし、労働人口の減少や中小製造業の縮小といった社会課題の解決に向けて、DXの推進は不可欠です。

その実現に向け、弊社は現場業務を見つめ直し、部分最適と全体最適の両面を意識しながらDX化を推進します。また、より大きな成果を創出するためには、自社内にとどまらず、顧客や協力会社との連携を深め、サプライチェーン全体の効率化を実現していくことが重要です。そのため、製造受託業のエコシステム構築を支えるDX化にも範囲を広げ積極的に取り組んでいきます。

今後は、サプライチェーン全体の持続可能なDX基盤を構築し、生産性向上と付加価値創出を通じて、関係するすべての企業が継続的に成果を享受できる仕組みづくりを目指します。



代表取締役社長　菅　正彦

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

目次

策定の背景 4

01.DX方針 5

02.DX全体像 6

03.DX戦略指針 7

04.DX戦略 9

05.サイバーセキュリティ対策 13

06.推進体制 14

07.中期ロードマップ 15

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

策定の背景

従来型モノづくりを基盤に、DX型モノづくりへの移行を加速し、事業の進化と深化をめざします

ー社会及び競争環境の変化の影響

社会構造がデジタル化・自動化・環境対応を求める段階へと移行する中、製造業界は国内外の競争激化、新興国の台頭、労働力不足、そしてカーボンニュートラルへの対応など、多面的な変化に直面しています。

制御盤業界では、大手と中小が連携し、業界全体の標準化やDX推進に向けた取り組みが活発化していますが、景気の波や買い手の交渉力が大きい構造の中で、サプライヤーは高い付加価値と柔軟な対応力が求められています。

ー内部資源と課題の可視化

弊社においても例外ではなく、従来型モノづくり・DX型モノづくりが共に機能する関係性から、DX型モノづくりへの移行を加速する必要があると考えています。DX推進は、多角的観点からも事業運営に必要不可欠で、競争力の維持・強化に直結する取り組みだと認識しています。

そのため、DXを本質的に進めるためにも人材育成・組織体制、業務プロセス、技術ナレッジの扱い、内部資源など課題の可視化と改善検討を進めてまいりました。

ー価値創造へ

これまで培ってきた深い知見と現場力の「従来型モノづくり」に加え、デジタル技術を活用した「DX型モノづくり」の双方を融合させ、持続的な企業成長と価値創造の実現をめざしてまいります。

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

01.DX方針

経営ビジョンを軸に据えたDX方針で、次の成長ステージへ

DXビジョン

○ 日本のモノづくりを基盤に、シームレスなデジタル製造革新をグローバルに発信する

○ デジタルと融合したオリジナルの価値創造で、顧客課題を解決する

○ DXを活用して人材成長・環境配慮・地域活動を推進し、社会貢献につなげる

DX WAY

モノづくりの先端に挑み、自己革新でお客様の期待を超える

情報処理技術活用の方向性

CXの向上 | DXで高める | デジタルで拓く

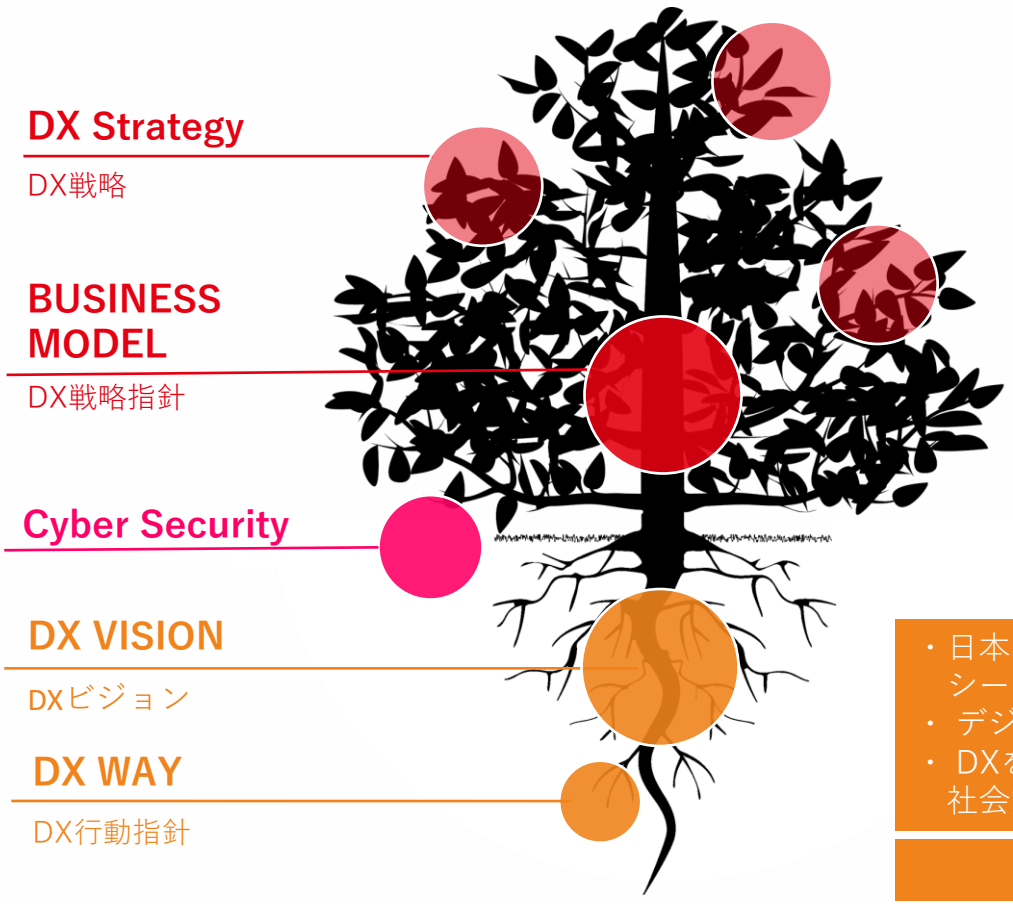
従来型モノづくりへの理解もある、DX型モノづくりの会社へ

株式会社マグトロニクス

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

02.DX全体像

進行方針　－　業務を“本質的に強くする”ために、必要なものを優先してDX化する



DX戦略指針	DX戦略
モノづくりが創る盤石な企業基盤でCXを向上	●自動化・省人化　●モジュール化 ● 3D設計　●標準化 ● AI　●効率重視
DXで高める個の力・働き方・組織力	●自己成長支援と人財育成 ●働き方・職場環境 ● DX推進体制・組織
デジタルで拓く関連業界・地域社会への貢献	●業界のDX推進 ● ITシステム環境の整備 ● CSRの取組

サイバーセキュリティ対策

・日本のモノづくりを基盤に、
シームレスなデジタル製造革新をグローバルに発信する
・ デジタルと融合したオリジナルの価値創造で、顧客課題を解決する
・ DXを活用して人材成長・環境配慮・地域活動を推進し、
社会貢献につなげる

モノづくりの先端に挑み、自己革新でお客様の期待を超える

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

03.DX戦略指針

モノづくりが創る
盤石な企業基盤で
CXを向上

お客様が安心・信頼できるCX（顧客体験価値）を提供するため
モノづくりにおける、以下6つの方向性のDX推進を前進させます

自動化・省人化

自動化・省人化の推進による業務運営の効率化と生産性向上と人手不足の解消へ

3D設計

分断データの一元化とデジタルツインによる設計精度・情報共有性・生産性向上

AI

AI活用による標準化・技術継承・ナレッジの資産化し、情報保管・技術継承に活用

モジュール化

モジュール化による効率・品質・開発スピードの向上により、柔軟性と生産性向上へ

標準化

標準化のためのデジタル基盤構築と再現性向上や、社内規格の統一化、トレーサビリティ強化

効率重視

デジタル統合による社内システムのシームレスな連携強化を図り、業務効率化向上へ

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

03.DX戦略指針

DXで高める 個の力・働き方・組織力

DX活用により、個人力・組織力を引き上げ
働きやすい職場環境の整備を推進し、企業価値発展をめざします

自己成長支援と人財育成	働き方・職場環境	DX推進体制・組織
DXを活用した自己成長を支援し、個の力の向上また人材の育成	多角的観点からデジタルツールの活用を行い、働きやすさの向上	DX戦略の推進に必要な体制を検討し、人材の育成・確保を推進

デジタルで拓く 関連業界・地域社会への貢献

デジタル技術を活用し、日本のモノづくりおよび関連業界の
DX推進に寄与し、弊社を取り巻く地域社会への貢献をめざします

業界のDX推進	ITシステム環境の整備	CSRの取組
DX事例や関連情報を社内展開し、社員のリテラシー向上に取り組むなど	DX基盤となるシステム環境の整備を行い、人材育成の強化に寄与	デジタルツールを活用した地域貢献活動の推進

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

04.DX戦略

モノづくりが創る盤石な企業基盤でCXを向上

自動化・省人化

生産支援データと線切り機の連携
手入力の時間短縮を図り、データによる管理・運用を確立します。

○生産に必要なデータを線切り機に取り込み、手入力の時間を1本あたり２秒削減する

進捗管理の可視化
工数データ、製造実績のデジタル集計を進捗更新のタイムラグを抑えた管理とします。納期遅延の抑止を目的とし、作業者の意識改革、管理者の負担軽減を図ります。

○未入力ゼロの達成

3D設計

デジタルツインによる作業効率と品質の向上
一律のデジタル化を避け、高度な空間検証が必要な案件を自律的に識別し、3DCADを「自動検証とデータ生成の装置」として活用します。

○ターゲット案件の製造準備リードタイム：従来比 25%短縮
※出図から製造着手（測長・帳票作成完了）までのトータル時間を短縮

効率重視

申請データAPI連携を基盤に業務の最適化と電子化を持続的に推進
申請APIの導入により、申請手続きのペーパーレス化を実現し、業務効率化を推進します。

○マイナポータル申請をAPI連携で電子化することで、業務標準化を推進し、工数削減と効率化を図る

CRM/SFAの運用&活用
導入により、管理業務や顧客を対象とした業務の工数削減を図ります。
また顧客情報や案件進捗の共有・見える化を行います。

○営業課の活動状況(月次集計)
400件/半期

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

04.DX戦略

モノづくりが創る盤石な企業基盤でCXを向上

AI

情報提供の最適化と標準化を進め、制度利用を促し問い合わせ負荷を軽減する体制を構築
必要な情報に迅速かつ正確にアクセスできる環境を構築し、満足度、理解度向上、生産性UPや各種申請の正確性の向上をめざします。

○属人化していた業務マニュアルを90%AIへ集約・一元管理

AI導入による作業の自動化
課題である「データ作成の二重手入力」について、AIで抽出・構造化したデジタルデータをシステム連携する仕組みを構築します。人的ミスを物理的に排除した、独自の標準化プロセスを確立します。

○布線データの登録・連携工数：従来比 25%削減

ナレッジの資産化による技術継承
レビューを経て抽出した高品質なナレッジを、社内教育と社外サービスの双方へ供給し、継承だけでなく技術知見提供のビジネスモデル構築も見据えます。

○高品質ナレッジの蓄積数
累計150件以上

モジュール化

製造連携が可能なデータベースの構築
データの整合性をシステムが自動保証する仕組みを構築。1時間当たり加工高の向上をデータ基盤から支える独自モデルをめざします。

○システム間データ転記の手入力ゼロ：達成率80%以上

標準化

図面情報に品質情報を反映させた一元管理基盤の構築
拠点ごとに異なる情報管理の課題に向け、図面情報に品質情報を統合し、一元管理できる基盤構築をめざします。

○図面デジタル化による不具合ゼロ化

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

04.DX戦略

DXで高める個の力・働き方・組織力

自己成長支援と人財育成

DX研修の実施（デジタル人材の育成）
DX戦略を確実に進められるデジタル人材を育成し、業務改善と効率化を自走できるDX推進力強化をめざします。

〇研修前後のスキルアセスメントにおいて、研修対象者のうち80％がスキル向上を認められる状態

働き方・職場環境

デジタルツール活用による働きやすさの向上
安否確認ツールを活用で、緊急時の情報収集・共有デジタル化で、働きやすさと安全性を高めます。

〇従業員満足度調査において、全回答者の50％以上が「人間関係」「労働環境」項目のスコアが向上した状態

DX推進体制・組織

DX人材の要件定義と採用
DX推進のための土台作りを目的とし、「DXを自走できる推進力」に関する要件定義を進めるとともに、関連人材の採用や組織力強化について検討します。

〇2027年9月までに
DX施策が5件運用開始している状態

DX推進人材の選任
全社のDXスキルを底上げすることを目的に、DX推進の中心を担う人材を選定し、業務でのデジタルツールを当たり前に使用する組織風土を醸成します。DXを推進しやすい・DXに取り組む好循環の創出をめざします。

〇2027年9月までに
DX施策が5件運用開始している状態

外部アドバイザーとの連携検討
DX推進のための土台作りを目的とし、組織づくり・人材育成進行チームが外部連携の検討を担当。必要に応じて外部アドバイザーと連携を図り、DXを自走できる推進力の強化・組織力の育成をめざします。

〇2027年9月までに
DX施策が5件運用開始している状態

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

04.DX戦略

デジタルで拓く関連業界・地域社会への貢献

業界のDX推進

制御盤DXに関する社外周知活動
中小規模の製造業およびその上流に位置する企業に向け、現状の把握と向かうべき姿を示すことにより、サプライチェーン全体を繋ぐDXを推進します。

〇制御盤DXアシスト成約数３社
(無料トライアル含む)

DX事例の情報収集と社内展開
弊社事業に活かせそうなDX事例を情報収集し社内へ展開（案内企画）。
これにより、社内のDXリテラシー向上につなげ、業界の底上げへもつなげてまいります。

〇DX推進企業の現地視察・工場見学・イベントなどから3件情報収集し、社内へ展開する

ITシステム環境の整備

DX基盤整備と人材育成強化
弊社はDX推進に向け、データ活用基盤とセキュアなIT環境を整備し、業務効率化と迅速な意思決定を実現します。
また、現在取り組んでいるセキュリティ対策を更に強化し、安全なデジタル業務環境を構築します。
さらに、必要な予算確保と人材育成を計画的に進め、継続的にデジタル化を推進できる体制を整備します。

〇クライアントPCへのエンドポイント導入率100%
〇クライアントPCのAD参加率100%
〇リモートワーク時の個人PC利用0
〇業務プロセス自動化10件
〇セキュリティインシデント発生件数 ゼロの維持

CSRの取組

デジタルツールによる安否確認を構築
デジタルツールの活用によって従業員が働きやすさを実感し、活用によって、従業員同士のコミュニケーションが活性化されることをめざします。

〇テスト実施において安否確認成功率90％

ホームページを主軸とした情報発信とアクセス解析・改善施策
中規模サイトとして安定的かつ健全な成長を図り、情報発信の出入口のハブとしてスムーズで確固たるポジションの確立をめざします。

〇月間平均PV数が年間20％UP

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

05. サイバーセキュリティ対策

DX推進の事業推進の前提となるセキュリティリスクへの対応は継続的な取り組みとして実施します

サイバー
セキュリティ対策

SECURITY ACTION
（セキュリティ自己宣言）二つ星

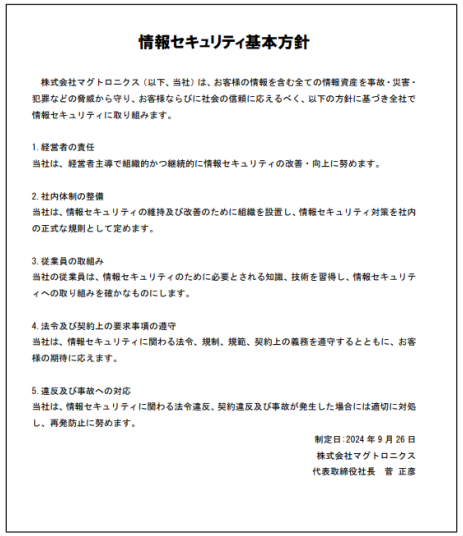
情報資産を適切に保護することは、事業活動の根幹であり、お取引先様からの信頼にお応えするために欠かせない責務であると認識しています。

継続的な強化に取り組み、安全で安心いただけるサービス提供に努めてまいります。

SECURITY ACTION
★★
セキュリティ対策自己宣言

情報セキュリティ基本方針

弊社では情報セキュリティ基本方針を策定し、公表しています。



情報セキュリティ基本方針

株式会社マグトロニクス（以下、当社）は、お客様の情報を含む全ての情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

1. 経営者の責任
当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

2. 社内体制の整備
当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

3. 従業員の取組み
当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。

4. 法令及び契約上の要求事項の遵守
当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

5. 違反及び事故への対応
当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。

制定日：2024 年 9 月 26 日
株式会社マグトロニクス
代表取締役社長　菅　正彦

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

06.推進体制

プロジェクト統括者の指揮のもと、社内横断のDX推進チームが進行します



●プロジェクト統括者の指揮のもと、DX推進事務局が全体進行管理を行います。
●具体的な施策推進は、3つの進行チームが分担し進行します。
　各進行チームには、リーダーと進行担当が在籍します。
・リーダー…進行担当のフォロー、会議への出席と報告。業務相談は
　　プロジェクトアドバイザーチームが担当します。
・進行担当 …主担当者。実際の作業・実務を中心に行います。

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

07.中期ロードマップ



※2026年10月時点の内容です。進行状況等により、変更となる場合があります。

株式会社マグトロニクス
Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.

株式会社マグトロニクス

本資料を無断で第三者へ開示・複製・転載することを禁じます。

株式会社マグトロニクス

Copyright (c) MAGTRONICS.CO.,LTD. All rights reserved.